



二条家伝来のひな

3月11日～4月20日（日、月、祝は休館）

会場／同志社大学 ハリス理化学館同志社ギャラリー

開館時間：10時～17時（最終入館16時30分まで）

入場料：無料

特集展示

宮廷ゆかりの ひなめぐり展

尼門跡寺院ゆかりのひな

3月1～6、11～13、18～21、
25～27日、4月1～3日

会場／宝鏡寺

（状況により変更される場合があります）

拝観時間：10時～16時 閉門受付15時30分まで

拝観料：大人600円／小人300円 ※20名以上団体割引あり

主 共 協

催：同志社大学歴史資料館

催：宝鏡寺・宝鏡寺人形展運営委員会

力：同志社大学宮廷文化研究センター

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期・開館時間等を変更する場合があります。最新の情報はホームページまたはお電話にてご確認ください。



一、二条家伝来のひな

今回展示する雛人形は、令和元年に二条家から寄贈を受けたものです。この雛人形は、現当主である二条基敬氏の母、恭仁子氏が二条家にお奥入れの際に生家である久邇宮家から持参したものです。大正七年の初節句の際に新調されたものを中心に、御所人形、宇治・茶の木人形などの人形類や玩具類などが追加されたものです。大正七年の人形は、主に京都の丸平大木人形店が製作したもので、内裏雛、三人官女、五人囃子、隨身、女三宮、段重などがそろった非常に豪華で雅びなものです。

是非お越しいただき、宮廷文化の一端に触れてみてください。



二、宝鏡寺とひな

宝鏡寺は百々御所ひゃくひゃくごしょとも呼ばれる尼門跡寺院で、江戸時代には代々の内親王が住持されてきました。そのため御所ゆかりの御人形を多数所蔵しております。それらの御人形を昭和三十二年より人形展として毎年春と秋に一般公開を始め、また人形供養も受け付けるようになったことから「人形の寺」として親しまれるようになりました。

本年は、第二十四世門跡三鷹地院宮さんまじいんのみやが光格天皇より拝領されました直衣雛のうしびなを飾ります。有職故実に則って作られた本格的な雛からは、幸福な夫婦の姿だけでなく、雅びな宮廷文化の美が醸し出されています。他にも多数の雛や御人形が一堂に会します。

お庭の熊谷椿、月光椿、村娘椿などの名木が咲き誇る華やかな雰囲気の中、多数の皇室ゆかりの宝物に接していただき、御所の春をお楽しみください。



◆同志社大学周辺の比丘尼御所(尼門跡)

旧百々御所 宝鏡寺門跡

〒602-0072 京都市上京区寺之内通堀川東入ル百々町 547
Tel: 075-451-1550 URL: <http://hokyoji.net>

ハリス理化学館同志社ギャラリー

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入ル
同志社大学今出川キャンパス ハリス理化学館
Tel: 075-251-2716 URL: <http://harris.doshisha.ac.jp>
連絡先: 同志社大学歴史資料館 Tel: 0774-65-7255